



プロジェクト名称

ICP (International Communication Project)

プロジェクト活動概要

本プロジェクトでは、留学生の学生生活のサポートや、企画・運営を通じて親交を深めることから、視野を日本から世界へと広め、さらに異なる文化・価値を理解し、尊重しあい、どんな人とも和合して、国際社会で通用する人材となることを目的としています。また ICP の活動を通して、本学の学生が留学生の母国に興味を持ち、留学へと意識をつなげていければと思っています。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 企画したイベントに定期的に参加してくれる留学生の国籍を前年の 3 倍にする。
- ② 日本人と留学生のイベント参加者を 1 : 1 にする
- ③ GSS や GLC など、他団体と協力した企画を 5 つ以上運営する。

今年度当初は ICP に在籍している留学生のほとんどが帰国してしまったため、新規留学生の獲得が最重要目標として掲げました。そこで引き続き ICP の活動に興味を持ってもらうための活動を注力した。秋旅行では、延べ 9 カ国、40 人の留学生が参加してもらいより幅広い文化交流を行えた。昨年度の同企画では 2 カ国の参加であったため①の目標は十分達成できた。留学生への広報に注力した結果、日本人学生の参加人数は相対的に少ないと感じた。今年度から新たに加わった日本人学生も若干いるが、学部等の垣根を越えた日本人同士の交流はまだまだ活発ではないと感じた。③に関して芝浦祭では GSS の人との連携により団体を越えたイベントが取り組まれた。

活動状況報告 & 活動写真など

活動期間：2016 年 10 月 1 日 ～ 12 月 31 日

～秋季旅行～

11 月の中旬に 1 泊 2 日の秋季旅行を行いました。留学生に四季を感じてもらえるように河口湖の紅葉狩りや、富士急ハイランドにも行きました。写真は旅館での食事の様子です。日本式の料理や浴場など普段できない経験が多かったと思います。留学生は日本人に教えてもらいながら布団をたたんでいたのも印象的でした。延べ 40 人、ドイツ・中国・タイ・サウジアラビアなど計 9 カ国の留学生と日本人が寝食を共にするというかなり貴重なイベントとなりました。はじめましての留学生もいましたが、これを機に今後の学生生活でも良好な関係を築けたらと思います。





～芝浦際ブース出展～

ICP では GSS や大宮からの留学生、国際寮の学生などと共に国際交流を行うブース運営に取り組みました。その際には、国際部の職員の方の協力もいただきながら基本的に日本人と留学生のコアとなる学生が計 5 回ほどのミーティングを通してお互いの意見を交換した企画を進めていきました。留学生による母国の文化に関するクイズや、民族衣装の着付けなど、当日は在学生以外の方からも参加してもらい運営者側からも貴重な経験ができたと思います。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

ICP は学生主体の国際交流団体という事で、今後もこの特色を活かし、お互いの価値を高めあえるような企画運営を行っていきたい。また、旅行等の単発的なイベントのみならず、学生プロジェクトとして、活動を通じた大学への国際化への取り組みにも還元できるようにメンバー一人一人が意識を向けるようにしていきたい。具体的にはキャンパス周辺の街並みマップの作製を企画中である。新年度入学留学生に向けて、キャンパスライフを便利で楽しくしてもらうために、キャンパス付近に詳しい留学生や芝浦製が協力して一つの地図を作成する過程で相互の活発的なコミュニケーションの生成を期待する。